

旭川市立朝日小学校第4学年 社会科 学習指導案

日 時 令和6年12月10(火) 5校時 実施
生 徒 旭川市立朝日小学校4年1組 25名
指導者 河野 翼

1 単元名 「郷土を拓く」

2 単元について

(1) 本単元に関わる学習指導要領の目標および内容(抜粋)

【学習指導要領】～社会科の目標と内容～ (第4学年) 1 目標 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るために活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことと社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	
2 内容 (4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。	
3 内容の取り扱い (3) 内容の(4)について、次のとおり取り扱うものとする。 イ アの(イ)及びイの(イ)について、開発、教育、医療、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げること。	

(2)児童の実態

○系統性を踏まえた本単元までに獲得している知識

	「十分満足できる」状況	「おおむね満足できる」状況	「努力を要する」状況
小3 「市の様子の移り変わり」 ・70年ほど前から現在までの旭川市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	43.5% (10名)	43.5% (10名)	13% (3名)
小4 「県内の伝統の文化」 ・旭川では、建物や踊り、祭りなどの伝統や文化が、人々の願いによって受け継がれてきていることを理解している。	78.2% (18名)	21.8% (5名)	0% (0名)

○「社会科の学習の方法に関する」児童アンケート

	とても そう思う	少し そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない
①資料から疑問や問い合わせたり考えたりすることができますか。	45.5% (10名)	40.9% (9名)	9.1% (2名)	4.5% (1名)
②資料から情報を調べたりまとめたりすることができますか。	68.2% (15名)	18.2% (4名)	9.1% (2名)	4.5% (1名)
③友達と交流することで、考えを深めることはできますか。	86.4% (19名)	4.5% (1名)	4.5% (1名)	4.5% (1名)
④自分で学習のまとめを考えて書くことはできますか。	63.6% (14名)	13.6% (3名)	13.6% (3名)	9.1% (2名)
⑤振り返りを通して、次の自分の学び方を考えることはできますか。	68.2% (15名)	18.2% (4名)	4.5% (1名)	9.1% (2名)

社会科の学習過程に沿ったアンケートの結果から、「①資料から疑問や問い合わせたり考えたりすることができますか。」について「とてもそう思う」の割合が低いことが分かる。児童が確実に問い合わせをもち、単元の課題設定を行えるように、初めに出合う資料についてじっくり読み取る時間を取り、時間的な視点から2枚の資料を比較させたりする。

また、「④自分で学習のまとめを考えて書くことはできますか。」について、否定的に捉えている児童の割合が若干多いことが分かる。まとめを書かせる際には、改めて課題を確認するとともに、板書を手掛かりとして書くことができるようとする。

その他、②、③、⑤については自分の学びについて肯定的に捉えている児童が多いため、継続して活動の機会を保障していくとともに、困難を感じている児童に支援を行う。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。

(2) 単元の評価規準

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 当時の世の中の課題や人々の願いなどについて資料館などを見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を理解している。 ② 調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	① 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問い合わせたりして、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例について考え、表現している。 ② 先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、地域の発展に尽くした先人の働きを考え、適切に表現している。	① 先人の働きについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 単元の指導計画（課題の把握、課題の探究、課題の解決）と評価計画

●記録に残す評価 ○指導に生かす評価

段階	時数	○児童の学習活動 ・予想される反応	研究内容との関わり	○教師の働き掛け ・手立て	知	思	主
つかむ	1	<p>○開拓時の旭川の様子を表す資料から分かったことや思ったことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「木がたくさんある。」 「兵隊のような人がいる。」 「人がいる。」  <p>○開拓時と開拓後の旭川の様子を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「木がなくて、家がたくさんある。」 「田んぼがたくさんある。」  <p>○ここまで学習から学習問題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「屯田兵は、一体どうやって、こんなにたくさんの木を切ったりしたのだろう。」 		<ul style="list-style-type: none"> 開拓時の旭川の資料を提示することで、当時の様子をつかむことができるようとする。 「この資料を見て、どんなことが分かりますか？」 開拓後の旭川の様子が分かる資料を提示し、開拓時の様子と比較させることで、現在は土地が色々なことに使われていることに気付くことができるようとする。 資料の比較を板書に整理したり、児童と対話したりすることで、屯田兵がどのようにして開拓を進めたのか、問い合わせをもてるようとする。 		(1)	(1)
	2	<p>○自分が開拓にやってきた屯田兵だったらという視点で、どのようなことを行ったり、どのように暮らしたりすることになるか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まず、木を切らなきゃいけない。」 「食べ物はどうしたらいいんだろう。畑や田んぼをつくるのかな。」 「大変そうだな。」 <p>○学習問題を解決するために、どのようなことを調べる必要があるか、調べたいことを考えて、学習計画を立てる。</p> <p>○振り返りを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 開拓に来た屯田兵の働きをロールプレイで行わせることで、開拓に必要なことや暮らしについて予想することができるようとする。 「もしみんなが開拓に来た屯田兵だったら、どうしますか？」 学習問題をまとめる際には、グループごとに調べたことを劇化することを伝える。それによって、児童が情報収集の視点や目的をもつことができるようとする。 		(1)	(1)

<研究内容1（1）課題設定、見通し>

本単元では、2つの資料の比較から、単元の課題を見いださせるようにする。単元の課題の文言は、「どのように」と抽象度を高めることで、幅広い予想を立てて、様々な事柄を調べることができるようとする。そして、事実を調べた上で、特色や意味を考えて「このように」とまとめることができるようとする。

本単元の導入時にロールプレイ、終末時に劇化の活動を設定する。終末時に、劇化を行う見通しを児童がもつことで、目的をもって情報収集をしたり、意欲的に活動したりすることができるようとする。また、劇化により、調べたことをアウトプットする場を設けることで、先人たちの努力や苦労をより身近に感じができるようとする。

調べる	<p>【情報収集①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の問い合わせや調べる視点を基に資料から情報収集を行う。調べたことは、オクリンクプラスに蓄積していく。 (予想される視点) <ul style="list-style-type: none"> ①開拓の始まり ②屯田兵の人々の暮らし ③屯田兵の人々の開墾 ④旭川兵村での米づくり ○振り返りを通して、学びの自覚や自己調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を準備する。資料は、複数人が同時に参照できるようにデータ化する。また、どんな内容がどの資料に提示されているかを児童に示すことで、児童が自分で調べ学習を進められるようにする。 (活用予定資料) ・副読本『あさひかわ』、『旭川魅力発見伝 ジュニアブック』、『歴史まんが旭川物語』、『目で見る旭川の歩み』、NHKforSchool「北海道開拓」、DVD「旭川の夜明け」「口なくして語り、手なくて示す」 	①	①	
			①	①	
			①	①	
			①	①	
			①	①	
	<p><研究内容1 (2) 自己決定、自己選択></p> <p>学習問題について予想をするとともに、自分の問い合わせを立てる。調べる段階では、そうした予想や自分の問い合わせの解決に向かうことができるようする。その際、個人の問い合わせは、学習問題に結び付いていることを意識させる。全体で、調べた結果を交流・共有することで学習問題の解決を図ることができるようする。</p> <p>調べ学習においては、その学ぶ対象だけではなく、どの資料にあたるか、どの順番で調べるか、他者との協働など、学び方についても自己決定、自己選択できるようする。そして、振り返りを通して、学びを実感したり、自己調整したりできるようにすることによって、自ら学びを進めるという意識を醸成する。</p>				
	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べてきたことを生かして、グループごとに、劇の内容を考える。 (予想される視点) <ul style="list-style-type: none"> ①開拓の始まり ②屯田兵の人々の暮らし ③屯田兵の人々の開墾 ④旭川兵村での米づくり ○シナリオを作成したり、練習したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクプラス上にシナリオシートを用意し、調べてきたことを活用できるようする。また、例を示すことで、児童が見通しをもって学習に取り組めるようする。児童の様子を見て、適宜指導助言を行う。 	②	②	
まとめる	11 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○劇の交流を行う。 ○それぞれの発表の共通性を見いだす。 ○屯田兵たちの苦労や努力にどのような意味があったのか話し合う。 ○学習問題のまとめを個人で書く。 ○振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇化自体が目的にならないように、本時の課題は、学習問題のまとめを一人一人が考えて書くことであると確認する。 ・当時の屯田兵たちの努力や苦労の意味を問うことで、旭川の開拓や発展、当時の人々の暮らしの安定や向上につながったことに気付くことができるようする。 	②	
	12	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学びや振り返りの蓄積を参考しながら、単元の振り返りを行う。 ○単元の振り返りを行う中で、全体で話し合いたい視点が児童から出された場合、それについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を通した、これまでの学びを振り返ることで、学びを確かなものにしたり、自身の成長や学びの価値を自覚したりできるようする。 		①

<研究内容1（3）単元レベルでの振り返り>

単元レベルでの振り返りは、本単元を通した学級全体の学びと個人の学びの2つについて振り返る。

①学級全体の問題解決の状況を振り返る

「学習問題について十分に考えることができたか。」

「まだ、みんなで話し合うべきことはないか。」

学級全体で、問題解決の状況を振り返ることで、児童が真に自分たちの学びに納得・満足を得られるようにするとともに、自分たちで学びを進めるという自覚をもつことができるようとする。

②個人の学習内容や学習方法について振り返る

「この単元を通して、自分が学んだことや成長したことは何か。」

「自分の学び方はどうだったか。」

「これから学びや生活に生かしていきたいことは何か。」

自分の学びや学び方について一人一人が振り返ることで、自らの成長や学びの価値を自覚したり、今後の自身の生活や学びにつなげたりできるようにする。

単元デザイン案 小4 社会科「郷土を拓く」

単元の目標

先人の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養う。

	研究内容	予想される児童の思考	教師の手立て	知	思	態
1	1 (1) 課題設定	課題設定のプロセス 「昔と今では全然様子が違う。」「誰が、どうやって旭川を発展させてきたのだろう。」 学習問題（単元の課題） 屯田兵たちは、どのように旭川を開拓したのだろう。	• 旭川の開拓前と開拓後の様子が分かる資料を提示することで、児童が問い合わせをもてるようする。		①	①
2	1 (1) 見通し	単元の見通し共有のプロセス 「まず、何から手をつければいいのだろう。」「木を切るための道具がいる。」「食べ物はどうしたのだろう。」「4の1劇場に向けて、たくさん情報を集めていきたい！ 実物も見られたらいいな。」	• ロールプレイを通して、屯田兵の働きを考えることで、学習問題について予想を立てられるようする。 • 学習問題をまとめる際には、簡単な劇を行なうことを伝えることで、見通しをもって情報収集を進められるようする。			
3 4 5	1 (2) 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」自己決定・自己選択	課題追求のプロセス 【情報収集①】 「屯田兵の暮らしや開拓について詳しく調べたいな。」「今も盛んな米作りは、どのように始まったのだろう。」 【情報収集②】 「兵村記念館に行って、当時の開拓者たちの暮らしや実際の道具を見てみたい。」 【整理・分析】 「劇に向けて、台本を考えたり、練習をしたりしよう。」	• 視点や資料、時間について示すことで、児童が自ら学習方法や進度を選択、決定しながら調べ学習を進められるようする。 • 旭川兵村記念館へ見学に行くことで、児童がそれぞれ調べたことを深めたり、新たな気付きを得たりできるようする。 • 思考ツールを活用することで、劇化に必要な事柄を整理できるようする。	①	①	①
6 7 8 9 10				①	①	①
11	1 (3) 既習事項との関わり、自己変容把握のための振り返り	単元のまとめに向かうプロセス 「屯田兵たちは、暮らしも仕事も大変な中で頑張っていたんだな。」「そのおかげで、当時の人たちは豊かに暮らせるようになったんだ。」 単元のまとめ（記述例） 屯田兵たちは、厳しい環境の中で、開墾をしたり、米づくりをしたり、たくさんの努力や労働をして旭川を開拓した。そのおかげで、旭川は土地を色々なことに使えるようになったり、米の生産ができたりするなど、当時の人たちが、安心して豊かに暮らすことができるようになった。 単元の振り返り（記述例） 屯田兵や旭川の歴史について、初めて知ることができた。そして、当時の旭川があるのは、屯田兵たちの苦労や努力のおかげだと思った。今も旭川では昔からの伝統や文化を受け継いだり、地域を発展させようとしている人がいるから、自分もそうした人たちのように努力できる人になりたい。	• 劇の交流をすることで、児童が調べてきた知識を関連付けたり、意味付けしたりし、単元のまとめを考えられるようする。	②		
12					①	

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて資料館などを見学・調査したり地図などの資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、地域発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問い合わせを見いだし、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例について考え、表現している。 ②先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて、地域の発展に尽くした先人の働きを考え、適切に表現している。	①先人の働きについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 本時の学習（12時間扱いの11時間目）

（1）目標

- 劇を通して、屯田兵たちの苦労や努力によって、旭川は開拓が進み、当時の人々の暮らしの安定や向上につながったことを理解することができる。

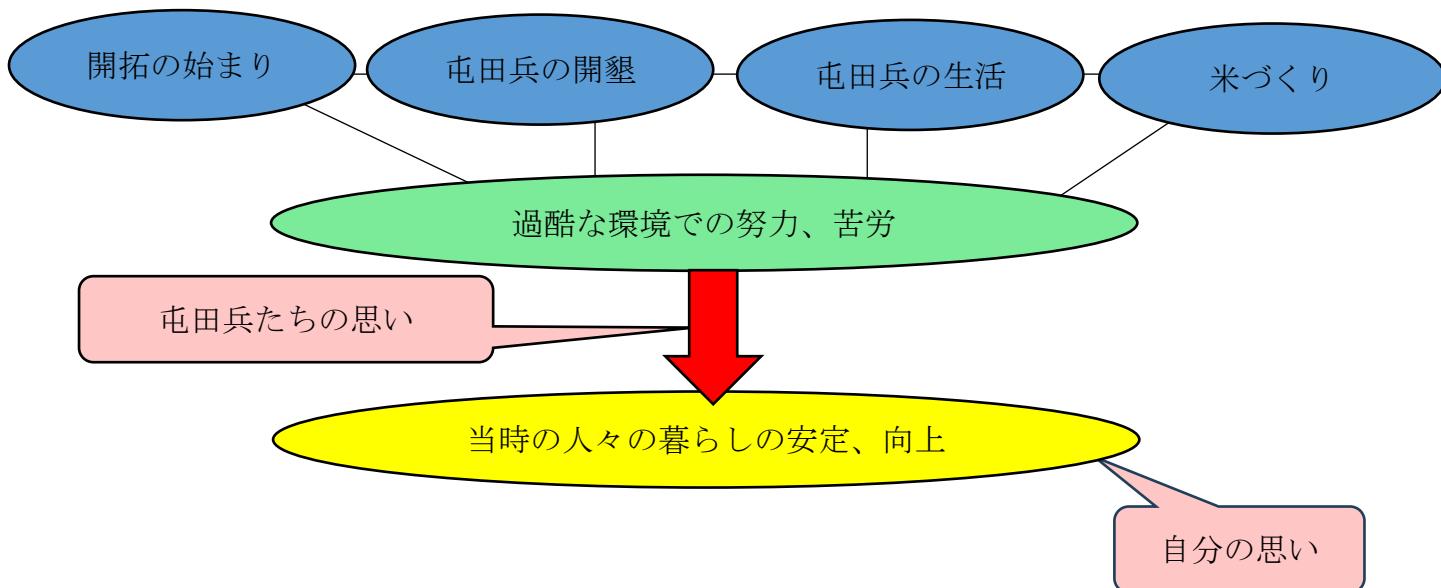
（2）学習評価

- 屯田兵たちの様々な苦労や努力によって、旭川は開拓が進み、当時の人々の暮らしの安定や向上につながったことに触れながら、学習問題への考え方を自分でまとめることができる。

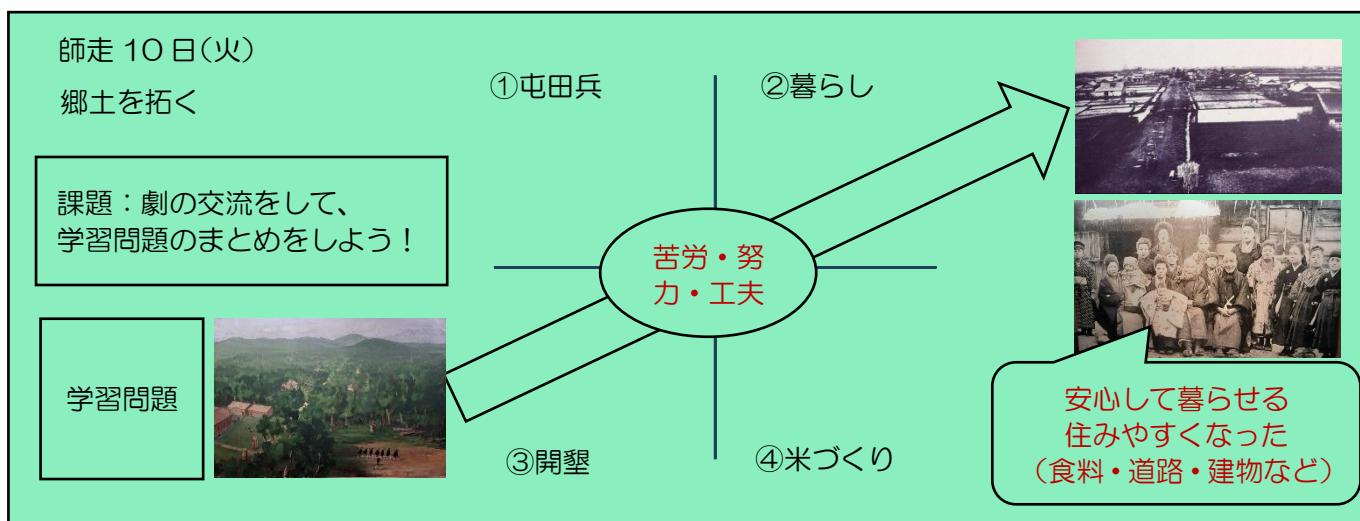
【評価方法】ノートへの記述内容

【評価場面】学習活動「学習問題のまとめを書く」

（3）深い学びのイメージ



（4）板書計画



(5) 展開

過程	○児童の学習活動 ・予想される反応	研究内容との関わり	○教師の働き掛け ・手立て
導入 3分	<p>○今日の学習内容を確認する。 (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今日は、いよいよ 4 の 1 劇場本番だ。」 「そして、学習問題のまとめをする。」 	<p>○「今日の学習は？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認することで、劇を通して、学習問題のまとめを行うことを理解できるようにする。 	<p>課題 剧の交流をして、学習問題のまとめをしよう！ (学習問題「屯田兵たちは、どのように旭川を開拓したのだろう。」)</p>
展開 30分	<p>○グループごとに劇を行い、互いに見合う。 (15 分)</p> <p>2 (2) 必要感のある学び合い</p> <p>○各発表の共通点を考える。 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どのグループの発表でも、屯田兵の人たちは大変な苦労や努力をしていた。」 <p>○学級全体で、屯田兵たちの働きの意味や価値について話し合う。 (10 分)</p> <p>2 (2) 必要感のある学び合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「屯田兵の人たちは、自分や家族の生活のために頑張ったと思う。」 ・「屯田兵の人たちは、北海道の守りや発展のために頑張ったと思う。」 ・「屯田兵は、旭川にとって、なくてはならなかつた存在です。なぜなら、屯田兵がいたから原始林の状態からまちを作れるようになったからです。」 ・「屯田兵は、旭川にとって、米づくりの恩人的存在です。なぜなら、藤田貞元たちが諦めずに米づくりに挑戦してくれたから、米がたくさん取れるようになったからです。」 	<p>○「どの発表にも共通することはあるかな？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に発表を見る視点を与えることで、学習問題のまとめに生かすことができるようする。 ・4 グループ、それぞれ 2 分程の劇を行う。 ①開拓の始まり ②屯田兵の人々の暮らし ③屯田兵の人々の開墾 ④旭川兵村での米づくり <p>○「こんなに大変なのに、なぜ屯田兵は頑張ったのでしょうか？」</p> <p>○「屯田兵たちは、この旭川にとってどのような存在と言えるでしょう？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開拓の意味について問うことで、屯田兵たちの努力や苦労が、旭川の発展や人々の生活の向上に繋がったことに気付くことができるようする。 <p>2 (1) 発問 知識の相互関連付け</p> <p>2 (1) 発問 社会的な見方・考え方</p>	
終末 12分	<p>○一人一人、学習問題のまとめを書く。 (7分)</p> <p>まとめ (記述例) 屯田兵たちは、厳しい環境の中で、開墾をしたり、米づくりをしたり、たくさんの努力や苦労をして旭川を開拓した。そのおかげで、旭川は土地を色々なことに使えるようになったり、米の生産ができたりするなど、当時の人たちが、安心して豊かに暮らすことができるようになった。</p>	<p>○「今日の学びを生かして、学習問題をまとめられそうですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに学習問題に対するまとめを書くことで、一人一人の学びを明らかにする。 	<p>○「今日の学びと「学び方」について、振り返る。 (5分)</p> <p>2 (3) 本時レベルの振り返り</p> <p>振り返り (記述例) 劇を通して、屯田兵たちが開墾や米づくりのために、すごく苦労や努力をしたことが分かった。当時の旭川があるのは、屯田兵たちのおかげだと思った。 今回、4 の 1 劇場の交流をして、どのグループの働きも大変だったんだなと実感した。劇をしたことで、今までの学びを友達と協力しながら、整理することができた。</p>